

モニタリング結果報告書（平成24年度上半期）

施設	設	花と緑のふれあいセンター
指定管理者	者	株式会社かながわGAパートナーズ
指定期間		H21.12.1 ～ H42.3.31
施設所管課		湘南地域県政総合センター（ ）

1 今期の指定管理者の管理運営状況（2～10の結果を踏まえた判定）

C

<判定理由>

事業計画に基づく維持管理運営を行っており、今期は入園者数が前年度に比べ約35%増加したこと及び事業運営の安定化に努めているため、前年度に比べ収支差が縮小され経営収支の改善が図られている。しかし、入園者数が提案時の半数にとどまっており、当初の入園者目標数値に達していないため、C判定とした。

- A：提案を上回る取組みを実施し、極めて良好な管理運営状況である。
- B：提案どおりに取組みを実施し、良好な管理運営状況である。
- C：提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、一部工夫が必要な面がある。
- D：提案どおりに取組みを実施していない。また、提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、抜本的な改善が必要である。

2 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	確認方法			指導等の有無	備考（指導事項等）
			月報確認	現場確認	電話確認		
4月	5月7日	5月14日	○	○	—	有	・作物の栽培期間終了後の速やかな撤去 ・集客対策
5月	6月7日	6月14日	○	○	—	有	・混雑時の円滑な入園、駐車場誘導 ・集客対策
6月	7月6日	7月13日	○	○	—	有	・病害虫雑草防除日誌の正確な記載 ・集客対策
7月	8月7日	8月14日	○	○	—	有	・枯死樹木の速やかな撤去 ・集客対策
8月	9月7日	9月14日	○	○	—	有	・イベントの早期、積極的な広報 ・集客対策
9月	10月5日	10月12日	○	○	—	有	・集客対策

3 指定管理者が提案した取組み等の実施状況

	提案内容	実施状況
1 展示事業	<p>【花き展示事業】</p> <p>園内全体で花のボリュームアップを図ることで園内の魅力度向上に注力する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開花予定主要花き 14種 ・花壇植栽計画 約30,000株 	<p>【花き展示事業】</p> <p>春期は集客力の高いバラに重点を置き管理作業を実施した。夏期は高温小雨であったため灌水に集中するとともに、植替回数増加や植替品週の変更などボリューム維持に努めた。また春期は前年度に補植・播種したユリ、アジサイ、ネモフィラ、エスコルチアなどの開花や植栽コンテナの設置、夏期は三日月山やアグリゾーンでのヒマワリ・コスモスなど開花により、見ごろの花の提供、花のボリュームアップを図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開花主要花き 14種 ・花き植替状況 26,340株

	提案内容	実施状況
2 体験学習事業	<p>【農作物栽培展示事業】 観賞に耐える展示を基本としつつ、適切な栽培管理手法を学び高い品質の確保に注力していく。 ・農作物種苗調達 約2,000ポット（7月中旬まで）</p> <p>【園芸教室・農業講座事業】 展示会事業やイベント事業と連携することにより、参加者の花菜ガーデン全体の満足度向上を図る。また、イベントや催し物が少ない時期に多く計画することにより、年間を通しての花菜ガーデンの利用時期を広げる。 ・園芸教室 16回（うち自主3回） ・農業教室 13回（うち自主2回）</p>	<p>【農作物栽培展示事業】 果樹は健全な果実を实らせるために病害虫防除作業、摘果作業を実施し梨を収穫した。水田については植付準備作業期から成熟期まで順調に推移し、収穫量が期待される。野菜の全体的な収量は確保されており、トウガン・ナスは収穫体験利用やレストランへの提供、来園者プレゼントなどに活用した。 ・展示農作物 203種</p> <p>【園芸教室・農業講座事業】 計画を上回る回数が実施された。園芸教室のバラの講座では初めて年間を通じた（5・8・2月）教室を開講し、定員を上回る応募があった。農業講座の田植え体験では、定員、日数を多く設定して多くの方の参加を得ることができた。夏休みの食に関する講座では親子での参加が多く閑散期の集客に寄与した。 ・園芸教室 17回（うち自主3回） ・農業教室 14回（うち自主4回）</p>
3 情報提供事業	<p>【農業・園芸等情報提供事業】 リーフレット等の印刷、配布については、コスト削減により一部休止を行うが、既存の配布先を活用しつつ、新規の情報提供先の検討を行う。また、ホームページなどを積極的に利用することで、リアルタイムの情報提供に努める。 ・ポスター 670枚 ・リーフレット等 416,500枚</p>	<p>【農業・園芸等情報提供事業】 印刷物などの広報資材は選択と集中により効果が現れるよう注力した。春バラについては、2回の新聞折り込みと東海道線、小田急線の電車中吊広告を実施し、春のローズフェスティバル期間中の入園者数が前年比150%以上となり、集客に寄与した。また、園のホームページでの開花情報やイベント情報を随時更新するとともに検索サイトへのキーワード登録なども実施した。 ・ポスター 2,150枚 ・リーフレット等 638,600枚</p>
4 イベント事業	<p>【イベント事業】 ローズフェスティバル～春～2012を集客イベントとして期間を設け、サブイベントを期間中に組み合わせる。こととする。 ・イベント実施予定数 12回 ・集客計画 76,500人（年間パレージョンカレンダー）</p>	<p>【イベント事業】 イベント開催においては、GWのイベントと春バラのイベントを分けて実施。ローズフェスティバル～春～2012をバラのイベントとして特化することで、集客の最大化を図るため広く広報し、来園者に魅力的なイベント（6回）を期間中に組み込んだ。期間中は物販、食品販売イベントとしてこだわりマーケットを2週に渡る週末に無料エリアで実施。課題もあったが新しい趣向のイベントとして集客に寄与する可能性が出てきた。 農作物の収穫体験については、従来の方法から内容の効率化を図ることで小規模ではあるが長期継続イベントとして定着しつつある。 また、県や関係機関との共催イベントに伴うPR強化により、集客増に大きく貢献している。 ・イベント実施回数 19回 ・集客数 102,030人（昨年実績：75,707人）</p>
5 独自事業	<p>【園芸福祉講座】 農業理解や園芸文化の普及など当施設の事業目的を県下に普及させることを目的として園芸福祉講座を開講する。前年度の園芸福祉士による園芸教室を踏まえ、今年度より実施。平成24年9月に予定</p>	<p>【園芸福祉講座】 園芸福祉講座として、初級園芸福祉士の受講資格が得られる「初級園芸福祉士養成講座」を県内で初めて開講。9月8・9日に室内講義、9月29・30日に屋外実地講義を行い、22名が参加して開催した。今後もこの時期に開催できるよう調整を図る。</p>

4 収支状況

(単位：千円)

		収入額				支出額	収支差額
		指定管理料	利用料金	その他収入	収入合計		
募集時の積算額 (参考)		67,122	156,724	19,446	243,293	243,293	0
予算額	前年度	56,324	157,283	19,459	233,067	233,067	0
	上半期	28,031	101,744	13,143	142,919	116,402	26,516
	下半期	28,293	55,539	6,315	90,148	116,664	▲ 26,516
	今年度	67,435	156,724	19,446	243,606	243,606	0
	上半期	28,713	101,382	13,135	143,232	116,799	26,432
	下半期	38,721	55,341	6,310	100,374	126,807	▲ 26,432
上半期実績額	4月	—	3,281	4,531	7,813	58	7,754
	5月	—	20,939	2,096	23,035	162	22,873
	6月	14,356	11,779	1,677	27,814	58,599	▲ 30,785
	7月	—	1,226	1,058	2,284	337	1,947
	8月	—	692	1,076	1,768	0	1,768
	9月	14,356	981	994	16,332	39,222	▲ 22,889
	今年度 上半期合計	28,713	38,900	11,435	79,050	98,380	▲ 19,330
	前年度 上半期合計	28,031	27,520	11,305	66,857	116,673	▲ 49,816
	対前年度上半期比				18.2%	▲ 15.7%	

注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しない。

*指定管理料はサービスの対価のうち、施設の維持管理・運営費及び修繕・更新費を記載

*利用料金・その他収入の予算額は入札時(平成18年)の事業者提案による見込額を記載

収支状況に関する確認等

確認項目	該当	理由等
① 年間予算額における収支差額が0でない	×	該当なし
② 今年度上半期合計欄の収支差額が、収入合計又は支出額のうち低い方の額の1割以上増減がある	○	利用料金収入(入園料金+駐車場利用料金)実績が提案時見込額の約38%(前年同期27%)にとどまっているため、収支に差が出ているが、前年同期に比べ、収入は約18%増、支出は約16%減となっており、入園者数の増加と経営の合理化による収支改善の取組みが反映された結果となっている。平成24年度から平成26年度までを事業運営の安定化を図るための試行期間とし、経営の一層の合理化を進めるとともに、イベント・プロモーションの強化・花のボリュームアップ等の取組みを進め、施設の魅力向上に努めることを事業者と合意し、取り組んでいるところである。
③ 収入額又は支出額が前年度上半期比で3割以上増減がある	×	該当なし
④ その他特記事項		

<参考>

本施設について県が支出した（する）計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費等

不可効力による合理的な増加費用及び損害について、サービスの対価のうちの各事業年度の施設等整備の割賦代金及びこれに係る支払利息相当額及び保険で補てんされない施設の維持管理・運営費相当額の合計の100分の1までは事業者負担、上記の額を超える部分は県の負担とすることと特定事業契約で定めている。

	金額（千円）	工事箇所・内容（金額）
上半期	0	
下半期	0	
合計	0	

今期に行った資本的な収入及び支出等の状況

	金額（千円）	内容
収入	134,000	追加劣後ローン（4/19 株グリーンアンドアーツ）
	0	
	0	
	0	
支出	0	
	0	
	0	
	0	
積立等	0（期首）	
	0（期末）	

- 1 収入：定期預金の取り崩し、借入れによる収入等
- 2 支出：車両の購入、施設の増改築、定期預金の積立て等
- 3 積立等：施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等

5 利用状況

	利用者数	前年同期利用者数	前年同期対比増減率
4月	9,980 人	10,262 人	▲ 2.7 %
5月	50,509 人	33,071 人	52.7 %
6月	29,747 人	17,832 人	66.8 %
7月	4,810 人	4,109 人	17.1 %
8月	2,967 人	3,389 人	▲ 12.5 %
9月	4,017 人	7,044 人	▲ 43.0 %

	目標利用者数	利用者数	前年同期利用者数	目標対比増減率	前年同期対比増減率
今年度上半期計	219,324 人	102,030 人	75,707 人	▲ 53.5 %	34.8 %
今年度下半期計	— 人	— 人	— 人	— %	— %

* 目標利用者数は入札時(平成18年)の事業者提案による見込額を記載

利用状況に関する確認等

確認項目	該当	理由及び対応策
① 今年度上半期の利用者数が前年同期比で1割以上増減	○	<p>今期はバラの開花期間中の集客最大化を最優先課題として掲げており、事業者による春バラのイベントの充実・展示会との連動・プロモーションの拡充、県事業によるイベント開催による集客対策が功を奏したと考えられる。さらに、4月まで寒気が長引いたものの、5月以降は比較的、晴天に恵まれたこと、また、開園3年目となり、園内樹木の生長による園の魅力度、認知度の向上によるところがあるものと推察される。</p> <p>なお、9月の前年同期対比減については、バラシーズンの集客対策強化のため、昨年度9月に実施した降雪イベント(2日間で約2,300人集客)を実施しなかったことに起因するところが大きい。</p>
② 今年度上半期の利用者数が目標利用者数を下回った	○	<p>春期については、春バラによる集客対策強化により前年度実績を大幅に上回る集客を得られたものの、夏期についてはイベント実施の見送りにより、前年度を下回る結果となった。</p> <p>夏期については、ゴーヤなどの蔓性植物による緑のカーテンによる緑陰など設置により暑さ・日差し対策を実施したが、8月9月は高気温の日が続くなど、天候要因も集客に大きく影響したと考える。</p> <p>今後はバラシーズン以外の時期も含め、集客の全体的な底上げを図るため、引き続き、園の魅力アップ、長期的・安定的な集客に繋がる対策を検討し、実施していく必要がある。</p>
③ その他特記事項	/	

6 苦情・要望等の状況

受付件数

上半期報告件数	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	電子メール	アンケート	
上段：報告件数 下段：報告件数のうち所管課受付分	3 (1)	2 (1)	5 (0)	4 (4)	91 (0)	105 (6)

*利用者満足度調査分を除く

7 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

分野	概要	対応状況
施設・設備	春のローズフェスティバル期間における駐車場混雑による入園渋滞ならびに退出時における機械トラブルによる退出渋滞	入園渋滞については駐車場誘導員を増員し、臨時駐車場の開場や駐車券受取等を迅速に対応した。退出時もトラブル時に即座に対応できるようスタッフを配置するとともに、園内放送により時間差退出を促した。
職員対応		
事業内容		
その他		

8 事故や不祥事等の発生状況

該当なし

発生日	事故等の概要	指定管理者の対応状況	原因・問題点 (指定管理者の課題を含む)

9 随時モニタリングの実施状況

該当なし

実施日 (事故発生日)	経緯・調査内容	調査結果 (指定管理者の課題の有無等を含む)
()		
()		
()		

10 今期の実績を踏まえた評価、改善策等

今年度上半期については、事業者による春バラの開花期間中の集客対策強化、県事業によるイベント開催により、前年度実績を30%以上、上回る集客を得ることができたため、引続き、秋バラシーズンにおける集客対策を実施するとともに、バラシーズン以外の時期においても、見ごろの花のボリュームアップや既存施設等を有効的に活用した集客対策及び早期・積極的な広報を実施していくよう指導している。

また、経営収支の改善については、収支状況に取組み結果が反映されており、引続き、事業運営の安定化を図るため合意した取組みを実施していくものとする。

県としても、県広報紙、ホームページ等でのPR、県イベントや包括協定によるポスター・チラシ配架の機会を提供するなど積極的に広報活動を支援するとともに、県事業によるイベント開催、地元市や周辺団体との連携調整など、今後も事業者と協力して、園の魅力アップ、認知度の向上を図っていく。